

年号：1954 年  
月日：9 月 10 日～13 日  
災害名：台風第 12 号の概要

### 大淀川位置図



出典：国土地理院

## 【昭和 29 年 9 月洪水（台風第 12 号）の概要】

- ・台風第 12 号の接近により、9 月 10 日より降り始めた雨は 12～13 日に豪雨となり、総雨量は平野部で 250～300 mm、山地部で 700～1,000 mm となった。河川の水位は 12 日夕刻、各地点共指定水位に達し、13 日早朝、各地点が警戒水位に達するという異常な増水記録を示し、高岡町を始めとする中流各地域、及び下流の宮崎市内には 13 日 12 時～13 時に沿川住民に対する避難命令が発令された。

### ▼昭和 29 年 9 月洪水（台風第 12 号）による大淀川水系の被災状況

死者、行方不明者・負傷者	死者 5 名、負傷者 2 名
流失及び全半壊戸数	流出 28 戸、全壊 72 戸、半壊 215 戸
床上・床下浸水	3,173 戸

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成 30 年 6 月）  
[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

### ▼台風第 12 号による五ヶ瀬川水系の被災状況

死者、行方不明者・負傷者	死者 12 名、行方不明者 4 名、負傷者 15 名
流失及び全半壊戸数	全壊 379 戸、半壊 916 戸
床上・床下浸水	6,231 戸

出典：五ヶ瀬川水系河川整備基本方針（平成 20 年 2 月）  
[国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所]

## 【昭和 29 年 9 月台風の被災状況】

<昭和29年9月洪水>

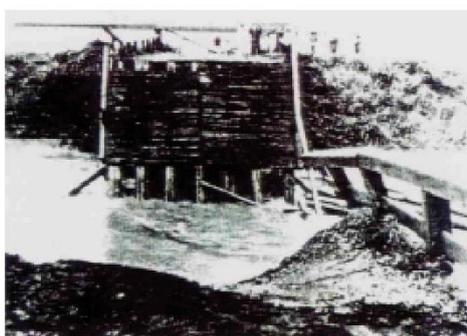


右岸大塚町付近の浸水状況（宮崎市）



流出寸前の赤星橋  
（都城市）

源野橋の流失  
（都城市・横市川）



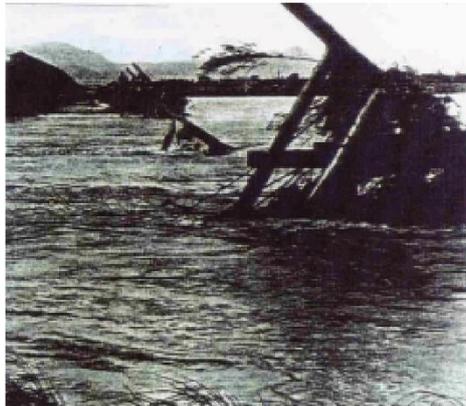
出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成 30 年 6 月）  
[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

<昭和29年9月洪水>



軒先まで浸水した家  
(高岡町)

流出した高松橋 (宮崎市)



流出する二巖寺橋 (都城市)

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成30年6月）  
[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

▼大淀川水系既往洪水の概要

洪水名 (発生原因)	流量(m <sup>3</sup> /s) <sup>※1</sup> <柏田>	被害状況 <sup>※2</sup>	備考
S11年7月22～23日 (暴風雨)	不明	死者 : 3名 負傷者 : 2名 家屋全壊: 6戸 家屋半壊: 7戸 家屋流出: 7戸 家屋浸水: 5173戸	昭和2年 大淀川下流、本庄川下流の直轄改修工事 計画高水流量: 5,500m <sup>3</sup> /s<宮崎地点>
S18年9月18～20日 (台風第26号)	不明	死者 : 114名 負傷者 : 161名 行方不明: 1名 家屋全壊: 567戸 家屋半壊: 1165戸 家屋流出: 508戸 床上浸水: 9361戸	
S24年8月14～16日 (台風第9号)	不明	死者 : 7名 負傷者 : 15名	昭和24年 大淀川上流の直轄改修工事 計画高水流量: 3,000m <sup>3</sup> /s<樋渡地点>
S29年9月10～13日 (台風第12号)	約7,000	死者 : 5名 負傷者 : 10名 家屋全壊: 72戸 家屋半壊: 215戸 家屋流出: 28戸 床上浸水: 3173戸 床下浸水: 5303戸	昭和28年 総体計画 計画高水流量: 4,000m <sup>3</sup> /s<樋渡地点> : 7,000m <sup>3</sup> /s<宮崎地点>
S46年8月26～30日 (台風第23号)	約6,000	負傷者 : 4名 家屋全壊: 4戸 家屋半壊: 6戸 床上浸水: 294戸 床下浸水: 1083戸	昭和39年 総体計画 基本高水のピーク流量: 7,500m <sup>3</sup> /s<宮崎地点> 計画高水流量: 7,000m <sup>3</sup> /s<宮崎地点>
S57年8月24～27日 (台風第13号)	約7,800	家屋半壊: 18戸 床上浸水: 264戸 床下浸水: 463戸	昭和40年 工事実施基本計画 基本高水のピーク流量: 7,500m <sup>3</sup> /s<宮崎地点> 計画高水流量: 7,000m <sup>3</sup> /s<宮崎地点>
H1年7月24～8月3日 (台風第11号)	約7,000	家屋半壊: 62戸 床上浸水: 79戸 床下浸水: 323戸	
H2年9月27～29日 (台風第20号)	約6,300	行方不明者: 1名 負傷者 : 5名 家屋全壊: 2戸 家屋半壊: 57戸 床上浸水: 1187戸 床下浸水: 1908戸	
H5年7月31日～8月2日 (前線)	約7,700	死者 : 1名 負傷者 : 2名 家屋全壊: 12戸 家屋半壊: 2戸 床上浸水: 771戸 床下浸水: 784戸	平成15年 河川整備基本方針の策定 基本高水のピーク流量: 9,700m <sup>3</sup> /s<柏田地点> 計画高水流量: 8,700m <sup>3</sup> /s<柏田地点>
H9年9月14～16日 (台風第19号)	約8,000	死者 : 2名 負傷者 : 3名 家屋全壊: 1戸 家屋半壊: 24戸 床上浸水: 401戸 床下浸水: 586戸	平成17年 大淀川激甚災害対策特別緊急事業
H16年8月29～30日 (台風第16号)	約7,300	負傷者 : 7名 家屋全壊: 2戸 家屋半壊: 5戸 家屋流出: 7戸 床上浸水: 164戸 床下浸水: 203戸	平成18年 河川整備計画の策定 河川整備計画の目標流量: 8,100m <sup>3</sup> /s<柏田地点> 河道の配分流量: 7,200m <sup>3</sup> /s<柏田地点>
H17年9月4～6日 (台風第14号)	約10,500	家屋全壊: 908戸 家屋半壊: 2147戸 床上浸水: 3834戸 床下浸水: 872戸	平成28年 河川整備基本方針の変更 基本高水のピーク流量: 11,700m <sup>3</sup> /s<柏田地点> 計画高水流量: 9,700m <sup>3</sup> /s<柏田地点>

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成30年6月）  
[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]